

2019 年度第 1 回情報教育研究委員会データサイエンス分科会議事概要

I. 日 時：令和元年 9 月 3 0 日（月） 1 8：3 0～2 0：3 0

II. 場 所：私立大学情報教育協会事務局 会議室

III. 出席者：渡辺主査、今泉委員、大原委員、西川委員、後藤委員
（事務局）井端事務局長、野本

IV. 委員の紹介

新規委嘱委員を含めて紹介が行われた。

V. 議事内容

1. データサイエンス教育支援の課題について

以下のような意見交換が行われた。

- ・ データサイエンス教育のカリキュラム案が検討されているが、私学での実施については、7 割が文系のため読み取ることが困難と考える。多くの大学にとって参考となる仕組みが必要となるのではないかと。
- ・ 文科省で拠点コンソーシアムの予算化がされているが、私学に向けたレベルへの対策が不足しているように思われる。
- ・ ワクワクするような学びであるべきで、そのような取り組みを紹介してはどうか。
- ・ 価値創造させることが重要で、課題に応じたスキルの修得だけでなく、体験させることでサイクルを回していく必要があるのではないかと。価値創造のためにデータサイエンスを行い、それが企業で求められる力ではないかと。
- ・ 価値創造に向けたサイクルと、能力として必要な 1 0 の分野（数学基礎、統計基礎、データモデリング、倫理的な問題への対応など）を統合して学ぶ必要があるのではないかと。

2. データサイエンス教育支援のプラットフォームについて

データサイエンス教育支援のプラットフォームのイメージが提示され、掲載内容の検討を進めた。

- ・ 1 番目の掲載項目は、AI 時代の人材育成に向けた政府の取組みとして、高等教育のグランドデザイン、AI 戦略、数理・データサイエンス教育強化拠点コンソーシアム、教育強化 6 拠点、全国展開協力校の取組みを紹介することが確認された。
- ・ 2 番目の掲載項目は、公立・私立大学で進めているデータサイエンス教育の取組み概要として、データサイエンス教育の初級レベルの事例（候補 5 大学）、専門分野とデータサイエンスを組み合わせた教育の事例（候補 1 2 大学）を紹介することが確認された。
- ・ 3 番目の掲載項目は、私立大学向けデータサイエンス教育の詳細な紹介として、データを活用した問題発見・解決、価値創造の楽しさに気づかせる教育方法の取組み事例（候補 6 大学）を紹介することが確認された。可能であれば取組み事例のイメージを 5 分程度のビデオで紹介することを検討したい。
- ・ 4 番目の掲載項目は、国外 MOOCs（3 機関）でのデータサイエンス教育方法を紹介することが確認された。
- ・ 5 番目の掲載項目は、データサイエンス関係コンテスト(6 機関)を紹介することが確認された。
- ・ 各掲載内容の情報収集は、委員で分担を決めて次回の分科会で持ち寄ることにした。

VI. 今後のスケジュール

次回の分科会は、11 月 11 日（月）に開催することにし、役割分担に基づく情報収集活動の状況報告、プラットフォームによる情報発信時期の検討を行うことにしている。